

# 中原消防団 広報誌

創刊号  
発行 平成 18 年 3 月  
題字 中 田 隆

# 翔太



## 「団広報誌『翔太』 発刊にあたり」



中原消防団長

内藤 雅光

各町内会、自治会の皆様には、平素より消防団活動に深いご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この度、中原消防団の広報誌「翔太」を発刊することになりましたが、私ども消防団員はこれを機に、消防団に対する理解がより深いものとなり、消防団員と区民が地域防災確立のため一体となって取り組んでいきたいと考えております。

我が国は、地震、台風、豪雨、など災害多発国ですが、特にいつ発生してもおかしくないといわれている南関東直下型地震では、阪神・淡路大震災をも上回る甚大な被害が出る想定されています。

このように危惧される、大規模な災害に対応するためには、今後ともより一層、地域の防災力を高めていくことが重要であります。

このため、消防団員は、

## 「団広報誌『翔太』 発刊にあたり」

防災面で十分な訓練と経験を積むとともに、地域に密着した組織であることから、自主防災組織との連携を図り、住民に対する訓練指導、防災知識の普及啓発を行っております。

また、消防団員は、来る六月十一日の消防大会に向け、毎日の勤めの後や、休日を返上して厳しい訓練を実施していますが、この訓練は、団員の団結力を高めることにも、災害などの不測の事態に対して迅速かつ沈着冷静に消防団活動ができるよう、するための重要な訓練です。ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

最後にこの広報誌「翔太」が消防団員はもとより、区民の皆様にも末永く愛読頂き、地域防災の普及に寄与することを祈念し、発刊の言葉とします。

このため、消防団員は、

## 消防団広報誌の 創刊によせて



中原消防署長

原 光男

中原消防団広報誌「翔太」の創刊まことにめでとうございます。

消防団員の皆様には、平素より仕事をされている中「自分たちの地域は、自分たちで守る」という崇高な郷土愛護の熱い思いで、火災をはじめ風水害、地震災害などから地域住民の生命、財産を守る防災活動に従事し、地域の安全確保に大きく貢献いただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

ここ数年を顧みますと、新潟県中越地震や新潟・福島豪雨による水害など日本全国で大きな自然災害が発生し、地域の消防団の献身的な活躍が報じられたところでございます。私たちの生活する川崎市におきましては、幸いにして近年大きな災害は発生しておりませんが、何時発生してもお

か

## 消防団広報誌の 創刊によせて

しくないと言われる南関東直下型地震の発生が危惧されているところです。このような大地震が発生いたしますと、当然の事ながら消防署員のみでは対応が不十分であり、地域に密着し、即時に対応できる消防団の活動が必要不可欠になります。

このように確固たる地域の防災力を確立するため、日々頑張っておられる消防団の活動内容、訓練内容さらに団の魅力などを本広報誌により広く地域に発信し、消防団を理解いただき、地域との連携がさらに深まることを期待しております。

最後に、本広報誌の創刊を機に中原消防団が、地域防災の中核として、内藤団長のもと団結をさらに強固にされますことと、ますますのご発展とご活躍を心から祈念いたしまして創刊にあたってのお祝いの言葉といたします。

このため、消防団員は、

### 第35回中原消防団 消防大会のお知らせ

日時 平成 18 年 6 月 11 日 (日)  
午前 10 時

雨天決行

場所 等々力緑地公園

催し物 物広場

競技 (分団対抗)

・ 小型ポンプ操法

・ ホース延長・伝令・収納

・ 応急救護

・ 防火衣着装

・ 小隊訓練

訓練の成果を披露いたしますので皆様の温かい声援をお待ちしております。



「翔太」は中原区の花パンジーをモチーフとした図柄で、消防団がこれからもたく羽ばたくという意味から名付けたものです。「翔太」の題字は第8代団長中田隆様に書いていただきました。

### 中原消防出初式

一月七日 等々力公園催し物広場に於いて、恒例の中原地区消防出初式が開催された。当日は晴天に恵まれ、消防部隊、救急隊、中原消防団5分団、企業の自衛消防部隊3隊、中原区の家庭消防隊等が参加し、式典が行われた。

原中原消防署長は「防災を願う心で、まちづくり市民が安心して生活できる様に日々努力し、職員、消防団員、そして皆様方と協力し活動して行きたい。」と挨拶、日ごろ消防活動に勤めた優秀職員、永年勤続功労団員、一般協力団体等がそれぞれ表彰された。消防長による消防部隊の



中原消防団一斉放水 (撮影：若島)

観閲が行われ式典が終了し、平間幼稚園の消防クラブの組体操が行われ、その演技の一つ一つに参加者、見物客より盛大なる拍手を頂いた。

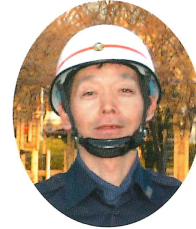
参加消防車両17台、ヘリコプター1機による消防部隊の分列行進が行われ、間近に見る消防車両等に大きな歓声があがり、少年消防クラブの徒歩分列行進が行われ、川崎市消防音楽隊の演奏により、カラーガード隊の楽しいドリル演技が、参加者、見物客を楽しませた。式典の最後を飾る、中原消防団による迫力ある一斉放水が行われ、ホースから水が青空に大きな弧を描き水煙によりきれいな大きな虹が描かれました。

### 中原分団

#### 中原消防 操法大会にむけて

##### 選手紹介

指揮者 會澤高生



昭和28年生まれ B型

指揮者として、全員が無事にケガも無く操法を習得し大会に楽しく参加出来る事を願って頑張りたいとおもいます。

1番員 渡邊和喜



昭和43年生まれ B型

操法の選手は初めてなので団員の方々に指導を受けて三ヶ月間の訓練、又大会にむけて頑張ります。

2番員 大橋貞幸



昭和42年生まれ A型  
操法の選手に決まりまして初めてなので何かと大変ですけど一生懸命頑張ります。

3番員 石井貞明



昭和28年生まれ A型

団員になってはや三年を迎え、昭和28年生まれの同級生とともに今年の選手に指名されました。初体験でありますが、安全第一にがんばります。

以上の四名で今年の操法大会に望みます。今年には會澤班長以外の選手全員が操法初体験のため、どんなチームになるか楽しみです。

中原分団団員一丸となって操法指導に取り組みます。今後の消防団活動に役立つよう操法の習得が一番の目的です。

最後に選手激励の言葉を大塚分団長より。

「操法大会に向けて今回は會澤班長を筆頭に選手選考はスムーズに決定いたしました。選手の方々には、結果にこだわらず熱き心をもって実力を存分に発揮していただき、健康に留意して訓練し、大会に望んでください。」

### 大戸分団

#### 時の流れと ときめきに係る幸せ論

大戸分団 井上 武

お笑いを一席。お月様とお日様と雷様が旅籠屋に泊まった。楽しい夜を過ごし、翌朝お月様が起きるとお日様がいない、中居は「お日様は朝早くお立ちになりました」と言う。雷様はいつ立つのかと聞く。と「雷様は夕立でございます」と。

「月日の立つのは早いもので、わたし達がよく耳にし、使う言葉だ。その早さは年齢に比例してスピードアップすると言う。何故か！私の分析では、心ときめかせ何かを待つ事が少なくなつたからと結論づけた。早く来い来いお正月。中学時代に文通がはやつていて、地方の人に手紙を書いた。18歳になったあかつきにはと、あれこれ考えた。行くことはできないであろう、まだ見ぬ外国に思いを馳せた。デートの日を待つ、等々。みな心がときめき想像を広げ待っていた。その「時」はゆっくりと流れる、遅すぎる程に。

では、今の私はどうか、心ときめかせ何かを待つなどという事は極めて少ない。だから「時」はあつという

間に流れてしまう。正月かと思えば、もうすでに三月が終ろうとしている。スピードが、やけに早い。いかん、いかん、老化現象の始まりだ。

そこで、時の流れを減速させて幸せに生きる方法を考えてみた。その一部を箇条書に示す。

- ① 植物を大事に育ててみよう。
  - ② 知らない人に挨拶をしてみよう。
  - ③ 妻と会話の時間を持とう。
  - ④ 感謝の気持ちを忘れない様にしよう。
  - ⑤ 子供の頃、夢中になっていた事をもう一度やってみよう。
  - ⑥ 疎遠になってしまった友に電話をして会う約束をしよう。 and so on
- さあ、幾つできるだろうか。先日、深夜のラジオで心に残る言葉を聞いた。「老い行けよ、我と共に、最善はこれからだ」

(那須町にて)



大戸分団 布施副分団長



4 年生の授業 (東住吉小学校)

創刊号ということもありここでは、住吉分団の紹介と日頃の活動をご報告したいと思います。

住吉分団は、東横線を東西に分け、東に木月東班・今井班・井田班、西に木月西班・菊宿班・市ノ坪班と計六つの班で構成されています。

団員数も現在 69 名と中原消防団の中でも一番多い団員数を誇っています。



小型ポンプ操法

### 住吉分団

また、今年の住吉分団は、消火活動の際の基本となる小型ポンプ操法を全団員が修得することを目標に小林分団長の指揮の下、一月から連日厳しい訓練を行っています。

そんな中でも訓練の合間をぬって年二回ゴルフコンペを行ったり、気の合う仲間同士で各々お酒を酌み交わしたりと団員間のコミュニケーションも図っています。

全団員とも、消防団活動を通じて同じ町に住む人々や地域との繋がりを大切に思いつつ日々、活動しています。

### 玉川分団

#### ガンバレ、玉川分団

年末の夜警とそれに続く初詣の警備、一月七日の出初式、一月には消火栓点検と、厳しい寒さの中、今年も消防団活動は始まりました。

昨年は消防大会操法の部で万年最下位から脱出し、なんと準優勝になって他の分団からフロックだとか、死に馬に蹴られたとか、やれば出来るとか揶揄、喝采？されましたが、今年はその余勢を駆って本気で優勝を目指し、早々と選手も決め、何と二月から週一とは云え訓練を開始したのであります。



3 番員  
長谷川正美



2 番員  
持田 浩



1 番員  
横溝秀喜



指揮者  
坂上俊男

棟梁の坂上団員を指揮者に、一番員は神奈川式典の横溝団員、二番員は持田電器の持田団員、三番員はサラリーマンの長谷川団員、そして小隊訓練の指揮者は出口住設の出口班長と、ほぼベストメンバーで臨みます。

大会までの四ヶ月間、長く厳しい訓練が続きますが、選手個々がトレーニンングや健康管理を怠らず、本業もおろそかにせず、指導者の熱意と団員の応援、家族のバックアップにより、十九年ぶりに優勝旗を奪還する決意であります。

### 丸子分団

#### 優しい顔で地域を守る「幹部三人衆の素顔」

私たち消防団は普段は仕事をしている普通の市民ですが、火災が起きると制服に着替えて火災現場に駆けつけます。

私たちは仕事をしながらいつも地域の安全を見守っています。

ここに紹介するのは丸子分団を引っ張るベテラン幹部三人衆。仕事と消防団活動に長年に渡り両立させてきた人達です。

そこで普段見る機会の少ない仕事姿をご紹介します。地域を見守っている、優しい笑顔がそこにはあります。

### 丸子分団

丸子地区 9 町会より構成。  
団員 46 名 (内女性団員 3 名)  
丸子地区は東横線新丸子駅周辺の商業地域・住宅地。小さいながらもまとまりがあり、ガッツがある分団です。  
近年マンションラッシュによる地域離れにより団員の減少が悩み。



団歴 28 年  
副分団長 倉形 昇 豊屋さん



団歴 29 年  
副分団長 横山秀彦 石屋さん



団歴 36 年  
分団長 稲見卓郎 中華屋さん



内藤団長、田中庶務部長、川野広報部長と

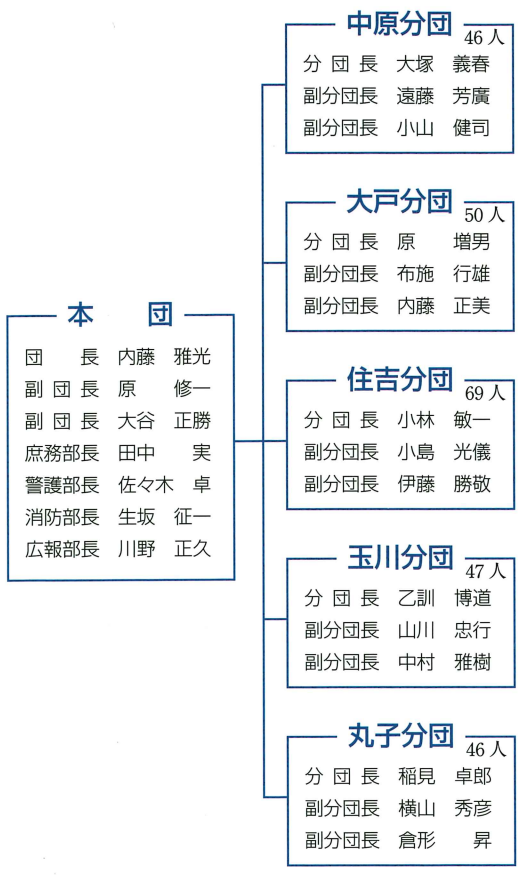
中原区では男性消防団員と一緒に女性消防団員七名が活動しています。

春秋の火災予防週間には婦人消防隊員の方々と一緒に広報活動をし、区民祭では消防団の P R 活動に参加しました。子供用防火着はとて人気があり着た子供たちは消防車に乗り笑顔で記念撮影、照れながら防火着を着て下さったお父さんやお母さん：「こんなに重いもの着ているの？大変ね！ご苦労様」色んな声を頂きました。これからも地域の方々とふれあいながら活動をしていきたいと考えております。これからも宜しくお願致します。

(広報委員 田口眞弓)

お母さんもお頑張りをお願いします

# 中原消防団の編成



## 消火活動

消防本部・消防署のある常備市町村においては初期消火、残火処理等を。非常備町村では、消防活動を全面的に担います。

## 防火啓発活動

消防団の平常時の活動のひとつとして、火災の予防対策や防火指導など、地域の防災力を高める啓発活動があります。

## 講習会

ケガをした際の包帯の巻き方、三角巾の使い方、急な疾病で倒れた人への対応など、応急手当の普及と指導活動を行います。



【消防団のホームページ】 [www.fdma.go.jp/syobodan/](http://www.fdma.go.jp/syobodan/)



## 防災活動

台風や集中豪雨においては、河川の氾濫や堤防の決壊を防ぐために土嚢を積むなどの防災活動にあたります。

## 高齢者の訪問

一人暮らしの高齢者宅へ定期的に防火訪問にうかがいます。これは、消防団にとって重要な活動のひとつです。

# 消防団の活動

全国に 約3,000団  
全団員は 約910,000人  
女性団員は 約14,000人  
平均年齢は 約38歳

## 平成18年度 中原消防団事業計画

|       |       |              |
|-------|-------|--------------|
| 平成19年 | 6月11日 | 中原消防団消防大会    |
| 8月上旬  | 8月11日 | 実技教養訓練       |
| 9月上旬  | 9月上旬  | 川崎市総合防災訓練    |
| 10月上旬 | 10月上旬 | 川崎市消防団操法大会   |
| 11月上旬 | 11月上旬 | 女性消防団員研修     |
| 12月下旬 | 12月下旬 | 新人団員教養       |
| 1月上旬  | 1月上旬  | 中原区民祭警備      |
| 3月上旬  | 3月上旬  | 秋季火災予防運動     |
|       |       | 中原消防団ボウリング大会 |
|       |       | 中原地区消防出初式    |
|       |       | 春季火災予防運動     |

平成十七年度 神奈川県防災功労者表彰  
日時 平成18年3月29日(水)  
於 厚木市文化センター

|     |             |          |        |                 |                 |                 |                 |            |          |                 |                 |         |         |             |                |
|-----|-------------|----------|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|----------|-----------------|-----------------|---------|---------|-------------|----------------|
| 功績章 | 神奈川消防協会会長表彰 | 神奈川県知事表彰 | 三十年勤続章 | 中原分団 部長 長 寫田 一憲 | 住吉分団 部長 長 小泉 修一 | 玉川分団 班長 長 福田 忠夫 | 玉川分団 班長 長 福田 忠夫 | 日本消防協会会長表彰 | 勤続章(三十年) | 中原分団 部長 長 寫田 一憲 | 玉川分団 班長 長 福田 忠夫 | 消防庁長官表彰 | 永年勤続功労章 | 本部分団長 川野 正久 | 九子分団 分団長 稲見 卓郎 |
|-----|-------------|----------|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|----------|-----------------|-----------------|---------|---------|-------------|----------------|

|     |             |          |        |                 |                 |                 |                 |          |         |                 |                 |          |         |                 |                 |
|-----|-------------|----------|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------|---------|-----------------|-----------------|----------|---------|-----------------|-----------------|
| 功績章 | 神奈川消防協会会長表彰 | 神奈川県知事表彰 | 三十年勤続章 | 中原分団 班長 長 井出 悦夫 | 住吉分団 班長 長 佐藤 雅章 | 玉川分団 班長 長 内藤 康雄 | 玉川分団 班長 長 内藤 康雄 | 勤続章(二十年) | 精勤章(十年) | 中原分団 班長 長 井出 悦夫 | 玉川分団 班長 長 佐藤 雅章 | 勤続章(二十年) | 精勤章(十年) | 中原分団 班長 長 井出 悦夫 | 玉川分団 班長 長 佐藤 雅章 |
|-----|-------------|----------|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------|---------|-----------------|-----------------|----------|---------|-----------------|-----------------|

**編集後記**

中原消防団広報誌「翔太」創刊号をお届けします。発行にあたり、ご協力に深く感謝致します。

発行責任者 内藤 雅光  
編集 中原消防団広報部  
広報部長 川野 正久  
中原分団 寫田 敏行  
大戸分団 三堀 武  
住吉分団 井上 武  
玉川分団 鹿島 秀樹  
丸子分団 横山 芳春  
高橋 哲夫  
石井 恒行  
畑 昭仁

第七回 県消防協会主催美術展 「写真の部」神奈川県知事賞  
田邊 文 江様 (九子分団・田邊部長夫人) おめでとうございました。

住吉分団 團員 相原 一哉  
玉川分団 團員 岩橋 孝  
玉川分団 團員 越智 利幸  
九子分団 團員 岩澤由紀夫  
丸子分団 團員 松田 光司